

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立綱引小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	力 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期・中期経営 目標の達成状況	力 評価	達成 評価	総合 評価
3	子どもが学びに 向かう力、学び 続ける力を育成 する。	★	継 続	課題解決力を育 成する。	・単元のつながりを意識 した授業づくりを実践 する。	・「学んで面白い」 90%以上(児童) ・国語・算数・理科の単 元テストにおいて、80 点以上の児童が80% 以上(テスト)								
			継 続	チャレンジ&チ ェンジする力を 育成する。	・主体的・継続的に「わ くわく学習」を進め、評 価する。 ・自分の目標を設定し、 定期的にふりかえるこ とで自己を認識する。	・わくわく学習達成率 85%以上(児童) ・「自分にはよいとこ ろがある」85%以上 (児童)								
			継 続	つながる力を育 成する。	・学びや行事を通して異 学年交流を工夫する。 ・思いやり行動を視覚的 に表し、価値つける。	・「異学年交流の場を計 画し、実施した」90% 以上(教師) ・「人とつながる力が高 まっている。」90%以 上(児童)								
			継 続	教職員のやりが い・充実感を高め る。	・自分の得意を活かした 研修を設定し、互いに学 び合う。 ・日常的に互いの授業を 見合い、認め合う。	・「自分が認められてい る」「仕事にやりがい を感じる」90%以上(教職 員)								
3	地域や地元企業 と連携したキャ リア教育を推進 する。	★	継 続	自己表現力を育 成する。	・各教科で話すこと、書 くことを取り入れ表現 のスキルを磨く。 ・地域のよさを語る場を 設定し、広げる。	・「話すこと」「書くこと」 を単元に位置づけて実 践した教員90%以上。 (教師) ・「地域が好き」90%以 上(児童)								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準
5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度 概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度 ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度 あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。